土庄町 総合ハザードマップ

小豊島地区　Tonosho Town Hazard Map Odeshima area

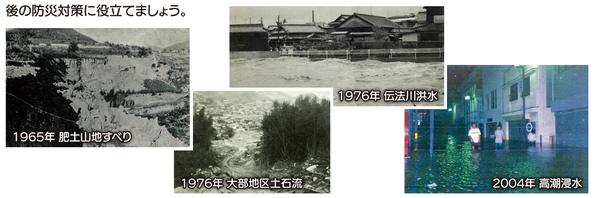
土庄町総務課　TEL:0879-62-7000　2026年4月発行

▶はじめに

近年、豪雨災害や地震災害が全国各地で発生しており、甚大な被害をもたらしています。土庄町でも、洪水、地震・津波、土砂災害、高潮及びため池の決壊など懸念される自然災害が多岐にわたります。この総合ハザードマップを活用し、お住まいの場所にどのような危険が潜んでいるのかを知り、日ごろから災害を想像して備えておきましょう。

▶土庄町の過去の災害

土庄町でも、過去には大きな災害により、被害が発生しています。過去に起きた災害や特性を把握して、今後の防災対策に役立てましょう。



▶土砂災害の特徴と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、地盤がゆるみ土石流やがけ崩れ、地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、土庄町へご連絡ください。

種類

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

大雨などによって地面に水分がしみ込み、地盤がゆるんで斜面が突然崩れ落ちます。地震によって起こることもあります。

土石流

土砂が、大雨による水と一緒になって、一気に流れ出してくるものです。破壊力が大きく、速度も速く、「山津波」とも呼ばれます。

地すべり

地中の粘土層などすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、比較的緩やかな斜面で広い範囲が動きます。

こんな前ぶれに注意して！

前兆

●斜面にひび割れができる。
●わき水の量が増える。
●がけに亀裂が入る。
●がけから小石が落ちてくる。

●雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。
●地鳴りの音が聞こえてくる。
●川がにごったり、流木がまざりはじめる。

●がけから出る水がにごる。
●地面にひび割れができる。
●斜面から水が噴き出る。

▶土砂災害警戒区域について

土砂災害のおそれがある箇所をハザードマップに示していますので、あらかじめ確認しておきましょう。

土砂災害警戒区域（イエローゾーン）

土砂災害の発生により、住民等の生命・身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域で、危険の周知や避難情報の伝達など警戒避難体制の整備が行われます。

土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

土砂災害警戒区域のうち、建築物が損壊して人命に大きな被害が生じるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制などが行われます。

土砂災害から身を守るためのポイント

①住んでいる場所が「土砂災害(特別)警戒区域」かどうか確認しましょう。
②雨が降り出したら土砂災害に関する防災気象情報に注意しましょう。
③危険を感じたら早めに避難してください。

▶風水害時の避難の心得

いざというときのために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。

状況により、すばやく避難しましょう
避難情報などが発表されていなくても、気象状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

防災メモを持とう
高齢者や子どもは、事前に住所、氏名、連絡先などを記載したメモを用意し、身につけて避難しましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には、「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくと良いでしょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
避難場所への経路は、川べりや地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

▶水平避難と垂直避難

道路の冠水や大雨など外に移動することで、かえって危険な場合は、自宅の上層階などへ垂直避難することも、命を守るための避難行動の一つです。

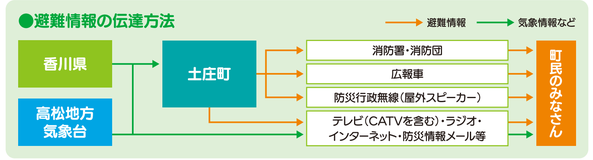
▶気象情報

令和8年5月下旬(予定)より防災気象情報などの名称が変わります。警戒レベルに応じた行動を心がけましょう。

警戒レベル	住民がとるべき行動	市町からの情報	気象情報			
		避難情報	洪水危険度	大雨危険度	土砂災害危険度	高潮危険度
			河川ごと	市町村ごと	市町村ごと	市町村ごと
5	命の危険　直ちに安全確保!	緊急安全確保	氾濫特別警報	大雨特別警報	土砂災害特別警報	高潮特別警報
	～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～警戒レベル4までに必ず避難～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～					
4	危険な場所から全員避難	避難指示	氾濫危険警報	大雨危険警報	土砂災害危険警報	高潮危険警報
3	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	氾濫警報	大雨警報	土砂災害警報	高潮警報
2	自らの避難行動を確認		氾濫注意報	大雨注意報	土砂災害注意報	高潮注意報
1	災害への心構えを高める		早期注意情報(警報級の可能性)			

▶防災情報の入手方法

災害のおそれがあるときには、気象庁や香川県、土庄町などからさまざまな情報が提供されていますので、テレビやパソコン、スマートフォンなどを利用して、情報を確認してください。



●香川県防災情報メール
気象警報・注意報や避難情報等がメール配信されるサービスです。

●防災アプリ「香川県防災ナビ」
災害時における避難情報の提供や、スマートフォンの持つ位置情報を活用して適切な避難行動を支援します。
(iOS)　(Android)

●かがわ防災Webポータル
香川県の雨量・河川の水位・潮位・土砂災害・防災情報を取得することができます。

テレビによる情報の入手例

1 NHK総合テレビを表示し、リモコンの「d(データ放送)」ボタンを押してください。
2 リモコンの矢印で「防災・生活情報」に合わせ、「決定」ボタンを押してください。
3 土庄町(テレビに設定している郵便番号で判定)から情報が発信されていれば、「避難情報」「避難所開設情報」ボタンが赤くなるので、選択するとそれぞれの情報が表示されます。

外国人の方のための防災情報　Disaster prevention information for foreigners

外国人住民のための防災ガイドブック
Disaster Prevention Guidebook for Foreign Residents
香川県が作成した多言語版の防災ガイドブックです(下記の言語で提供)。

●やさしい日本語版／やさしいにほんごばん
●英語版／English Version
●中国語版(簡体字)／中文版(简体字)
●中国語版(繁体字)／中文版(繁體字)
●韓国語版／한국어
●タガログ語版／Sa Tagalog
●インドネシア語版／Edisi Bahasa Indonesia
●ポルトガル語版／Versão em português
●スペイン語版／Versión en español
●ベトナム語版／Phiên bản tiếng việt

外国人住民のための防災ガイドブック

外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ「Safety tips」
"Safety tips" - a disaster information app for foreign tourists
観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ(15言語に対応)。
(iOS)　(Android)

▶わが家の防災メモ

家族の名前	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

わが家の避難先（親類宅・避難所など）

家族がはなれなれになったときの集合場所

緊急時の連絡先

警察への事件・事故の通報	(局番なし)110	香川県広域水道企業団 小豆ブロック統括センター	0879-75-1400
火事・救助・救急車	(局番なし)119		
海の事件・事故の通報	(局番なし)118	中国電力ネットワーク	0120-414-267
土庄町役場	0879-62-7000	NTT西日本	(局番なし)113

災害用伝言サービス

大規模な災害が発生した場合に開設される、安否確認のための伝言サービスです。

災害用伝言ダイヤル 171 …電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。

171をダイヤル
- 録音するときは 1 をダイヤル → 被災地の方も、被災地以外の方も → 伝言を入れる
- 録音するときは 2 をダイヤル → 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする → 伝言を聞く

災害用伝言板(web171) …スマートフォン・携帯電話・PC等から災害用伝言板(web171)にアクセスすることで、テキストによる安否情報(伝言)の登録・確認を行うことができます。
URL https://www.web171.jp/

※上記の他に携帯電話各社から「災害用伝言板サービス」が提供されます。利用方法については各社ホームページ等でご確認ください。

▶マイ・タイムライン

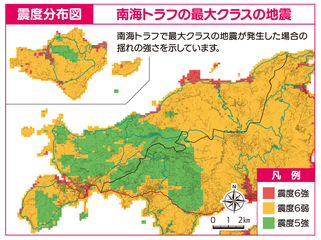
マイ・タイムラインとは、大雨や台風等の風水害に備えて、事前の準備や行動を前もって整理しておく防災行動計画のことです。「いつ」「誰が」「何をするのか」を決めておくことで、いざというときに慌てず行動をすることができます。
安全な避難行動をとるためにマイ・タイムラインを作成しておきましょう!

マイ・タイムラインは、国土交通省ホームページや香川県ホームページに作成の方法が記載されています。

国土交通省「マイ・タイムライン」
香川県「つろう! マイ・タイムライン」

▶南海トラフ地震　今後30年以内に60～90%程度以上の発生確率

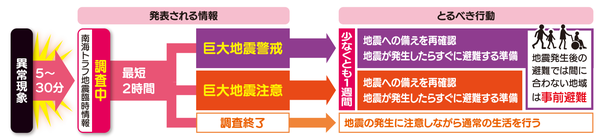
震度分布図　南海トラフの最大クラスの地震



マグニチュード8～9クラスの南海トラフ地震発生の確率は、最も高いⅢランク(60～90%程度以上)とされています(2026年1月1日時点)。

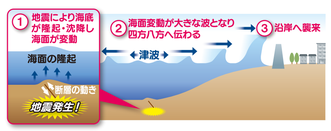
南海トラフ地震臨時情報

「南海トラフ地震臨時情報」とは、南海トラフにおいて地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された際に気象庁から発表される情報です。「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合には、事前避難などの防災対応をお願いすることがあります。



▶津波の発生と伝わり方

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わる現象が津波です。



▶津波からの避難

地震発生時には、以下のことに気をつけて、落ち着いて行動しましょう。

小さな揺れでも油断禁物
たとえ小さな地震でも、津波が発生する危険性があります。

より高い場所へ避難する
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。

正しい情報を聞く
携帯ラジオ・防災行政無線などで、正しい情報を聞きましょう。

車での避難は控える
車は約30㎝の浸水で走行困難になります。車での避難は控えましょう。

▶地震、津波が起きたとき、とるべき行動

地震発生!
土砂災害の危険が予測される地域は、すぐ避難!
沿岸部は津波のおそれがあるので高台に避難!
揺れが収まってから行動

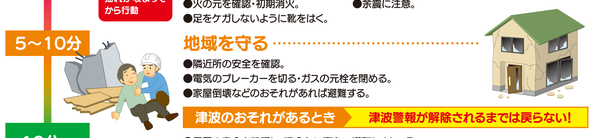
1～5分

命を守る
●落ち着いて、自分の身を守る。
●ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

家族を守る
●家族の安全を確認。
●火の元を確認・初期消火。
●足をケガしないように靴をはく。
●必需品を手元に用意する。
●余震に注意。

5～10分

地域を守る
●隣近所の安全を確認。
●電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。
●家屋倒壊などのおそれがあれば避難する。



津波のおそれがあるとき　津波警報が解除されるまでは戻らない!

10分～数時間後

助け合いの心で
●周囲の安全を確認し、逃げかたに高台へ避難しましょう。
●ビルなどの屋内等で係員の指示がある場合は指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
●協力して消火・救出活動。
●水・食料は備蓄でまかなう。
●災害情報、被害情報の収集。
●壊れた家には入らない。
●引き続き余震に注意。
●避難所では集団生活のルールを守る。

▶要配慮者への支援

災害が発生したときは、高齢者や心身に障がいのあるひと、子供や妊婦などの方には特別の配慮が必要です。普段から身近にいる要配慮者の方々への手助け、心配りを心がけてください。

▶ため池の災害対策

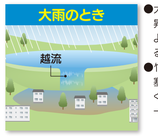
ため池は、農業用水の確保のための重要な施設となっています。しかし近年、局所的な大雨や大規模地震の発生などにより、ため池の被害や決壊による災害が発生しています。

ため池の管理者の方
・定期的にため池の点検及び補修を行いましょう。
・異常を発見したら、すぐに町・警察・消防・住民に連絡しましょう。

ため池近隣にお住まいの方
・大雨時や地震時に、ため池の堤体が決壊し、下流部が浸水する場合があります。避難指示があった場合はすみやかに避難しましょう。

ため池の決壊〈こんなときは要注意〉

大雨のとき



●大雨のとき、ため池の水位が上昇し堤防を越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。
●竹や流木が洪水吐の断面を閉塞させると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。

大地震のとき

●大地震のときに、ため池の堤防が異常な力を受け亀裂が生じたり、地盤の液状化により決壊する危険性があります。
●比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐えきれず決壊に到ることがあるので注意が必要です。

▶非常持ち出し品

いざというときに備えて、非常持ち出し品を準備しましょう。非常持ち出し品は、リュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。

✓非常持ち出し袋

●食料品
□飲料水(1人1日3Lを目安)
□非常食(缶詰、レトルト食品など)
□携帯食(チョコレート、飴など)

●日品など
□ポリ袋(ビニール袋)
□ウェットティッシュ
□携帯ラジオ
□懐中電灯
□予備電池
□携帯電話、スマートフォン(充電器、モバイルバッテリー)
□めがね
□コンタクトレンズ(洗浄液含む)
□洗面用具(歯ブラシ等)
□新聞紙
□ラップ

●救急・安全対策
□常備薬(胃薬、かぜ薬など)
□包帯、ガーゼ、絆創膏
□傷薬、消毒液
□持病のある方の薬
□ヘルメット、防災ずきん
□ホイッスル
□マスク
□おくすり手帳

●衣類など
□下着、上着
□タオル、毛布
□手袋、軍手
□寝袋
□雨具
□携帯スリッパ

✓貴重品類
□現金(小銭)
□マイナンバーカード、免許証、パスポートなど(本人確認できるもの)
□クレジットカード類
□健康保険証
□預貯金通帳、印鑑
□鍵

✓子どもがいる家庭の備え
□ミルク
□おむつ
□ほ乳ビン
□離乳食
□お菓子
□携帯カトラリー
□おしりふき
□抱っこひも
□おもちゃ

✓女性・妊婦の備え
□生理用品
□サニタリーショーツ
□おりものシート
□防犯ブザー/ホイッスル
□中身の見えないゴミ袋
□母子健康手帳

✓高齢者・障がい者の備え
□大人用紙おむつ
□介護食
□補聴器
□吸水パッド
□持病の薬
□障がい者手帳
□杖
□入れ歯・洗浄剤

✓その他
□ペット用品(ケージ、リード、ペットフード、トイレ用品)
□耳栓
□アイマスク　など

▶備蓄について

災害復旧までの数日間(最低3日間、できれば7日間)自ら生活できるように食料や燃料(カセットコンロなど)、日用品(簡易トイレなど)を準備しておきましょう。

▶ローリングストック(循環備蓄)

備蓄食料、飲料水などの保存期間が切れる前に消費し、その分だけを新たに補充して常に一定量のストックがある状態を保つことを「ローリングストック」といいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎます。